

FLORE21 ホットニュース

ミモザも梅も桃も桜もいっきに咲いてしまいそうなポカポカ陽気です。

お客様からは、「3月の末にミモザありますか?」「4月上旬の婚礼で桜を使いたいんだけど」と多々問い合わせが入っていますが、「この陽気だと・・・」という返答しかできない状況です。3月のお彼岸に向けて生育中の花の前進も気になります。

来週は20度になる日と10度以下になる日とジェットコースターのような寒暖差の予報です。お花の心配と自分自身の身体の心配と両方必要です。

コロナの感染者も、もうニュースではあまりやりませんが急拡大しているそうです。ご自愛ください。

今週のホットニュースは、

○大田店 「月刊花すけ」に私の文章が掲載されます。(これから書きます)

○世田谷店 一足お先に彼岸桜を見に行きました! 神奈川県三浦海岸

○葛西店 わたしは「梅を見に!」希少な梅もある池上梅園

○会長小池のコラム(過去記事) 株価は過去最高に迫っていますが財布のゆとりは・・・以上の3レポート+1です。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

いつもありがとうございます。

今回は『月刊花すけ』を紹介させていただきます。

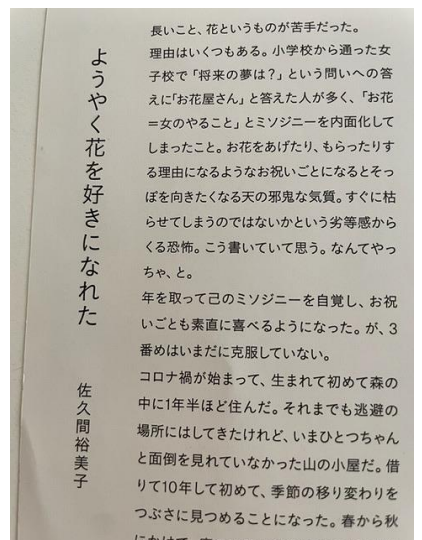
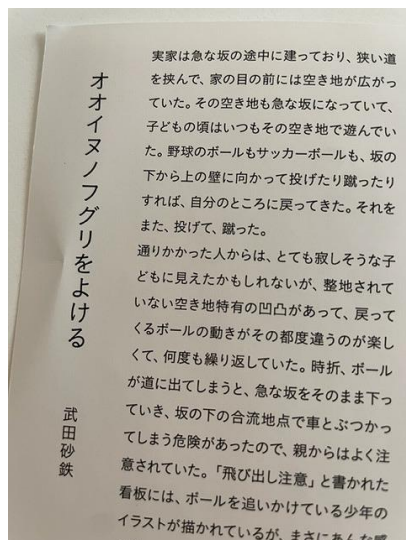
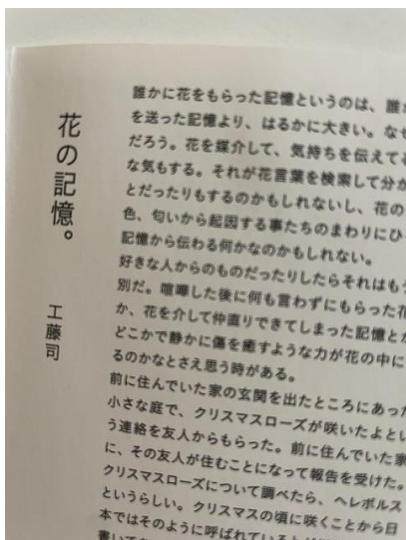


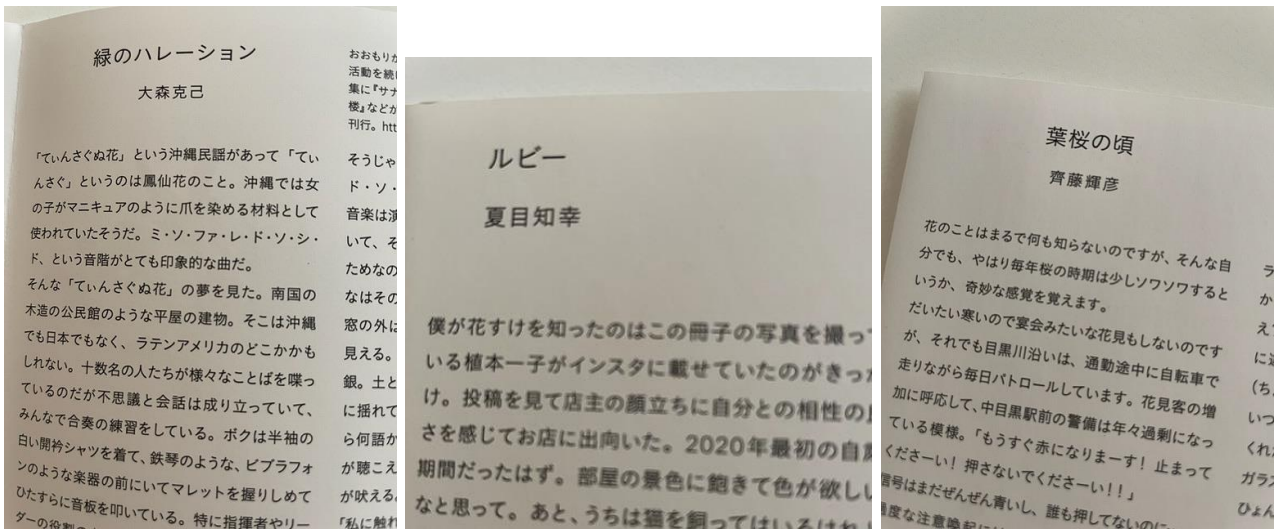
この蛇腹折り3山のリーフレットは目黒にあるお花屋さん(といっても駅から徒歩では遠い、昔武蔵小山に住んでいた頃犬の散歩でよく行っていた林試の森公園からは近い、アクセスが良いのか、悪いのか微妙な、いや絶妙な立地) **花すけの高橋健治郎さんと写真家の植本一子さんが2021年から共同で発行している月刊誌**です。



植本一子さん、どこかで聞いたことのある名前だとも思ったら(失礼ですよ、でもあまり芸術関係に明るくないので🍷)、2018年に逝去したミュージシャンのECDさん(大好きなラッパー)とパートナーだった方でした。

『月刊花すけ』は高橋さんが活けたお花を植本さんが撮った写真とお二人の関係者の方が寄稿する短い文章で構成されています。季節感溢れるお花と動きのある構図が素敵な作品の写真は勿論ですが、裏の文章が秀逸です。まずメンバーが凄い。グラフィックデザイナー、イラストレーター、ミュージシャン、ファッションデザイナー、家具デザイナー、マンガ家、ライター、シェフ、近所の小学生など、目が眩むほど豪華。で、とても面白い。





所謂街のお花屋さん（再び失礼。でも良くも悪くも、いや良くも良くも THE・街のお花屋さん）なのにこのゴージャスな執筆メンバーを集められるのはお二人の人徳だと思います。さすが花業界のいとうせいこう（私は高橋さんのことをこう呼んでいる、なんとなく雰囲気似ているから）。

今回なぜ『月刊花すけ』を紹介したかということ、私が執筆（そんな大層なモノは書けません）依頼を受けたからです。実は前からお願いされていたのですが他のメンバーが凄すぎて恐縮なのでずっとお断りしていました。

店頭で余ったチューリップを買ってもらおうのと交換条件で依頼を受けました。

いつ掲載か分かりませんが、そもそもまだ書いていませんが、見かけたら手に取ってもらえると嬉しいです。

多分花すけさんの店頭で配布していると思います。

大田店 山口

世田谷店おすすめ

早咲きの河津桜を見に

「三浦海岸桜まつり」

に行ってきました。

三浦海岸桜まつりは第 20 回を迎えます。今では期間中に 30 万人前後の観光客が訪れる三浦のひと足早い春の風物詩になっています。三浦海岸駅から小松が池公園までの道のりに約 1000 本の河津桜が植えられています。三浦海岸まちなみ協議会により「桜の咲く里づくり」を目指して植樹されました。



この日も平日にもかかわらず、たくさんの方が桜を見に来ていました。

画像左下は会場の小松が池公園の桜の様子です。

中央と右下は赤い電車、京急とのコラボです。電車好きの方には、たまりませんね。

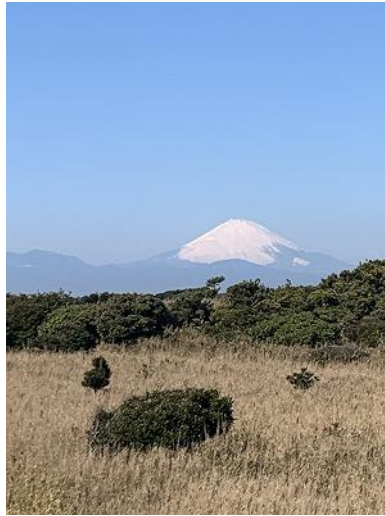
京急線沿いの桜は3～6分咲き、小松が池周辺は3分咲きだそうです。



左の写真は三浦海岸駅隣の三崎口駅。こちらにも河津桜が植栽されています。こちらのほうが咲いていました。6～8分咲きでしょうか。皆さん桜の写真を撮っていました。この日は天気も良かったので、青空に濃紅色の河津桜がよく映えますね。



三崎まで来たので足を伸ばして**城ヶ島公園**にも行ってきました。
ウミウの生息地とのことでウミウの像があります。



展望台からは富士山もはっきりと見ることができます。また眼下には岩礁地域が広がり磯遊びを楽しむことができます。海がとてもきれいです。



左の安房埼灯台は建て替えに合わせデザインを募集して令和2年3月に建設されました。畑から海が見える三浦市のイメージから野菜をモチーフにし、その野菜のさわやかさを表現したそうです。そういわれると下のほうが緑色をしていて三浦名物の大根のように見えます。

城ヶ島公園にも数本ですが河津桜が咲いていました。木にもよりますが3~5分咲きといったところでしょうか。



写真が曲がっているわけではありません。海風を受け斜めに育った黒松です。自然の力強さに驚かされますね。



1月下旬から咲き誇る約30万株の八重咲き水仙。
近くを歩くと甘い香りに包まれます。

城ヶ島公園では見ごろのピークを越えたところに水仙の花摘みを実施しています。

(2/10~16までは一部の場所、フォトスポットを除く。)

(2/17からは公園内全域、自由に持ち帰りができます。)



私も何本か摘んできました。八重咲でボリュームありますね。
部屋は水仙の甘い香りで包まれています。

世田谷店 角田

仕入れの素☆葛西店

こんにちは！

モンハンに再ハマりしてミラボレアスに苦戦している野村です！

今回は大田区にある池上梅園に行ってきました。

入口の看板によればこのようでした。

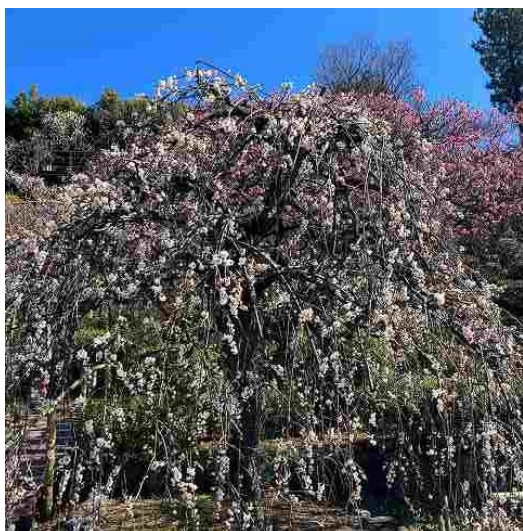
全体図はこんな感じで、茶室や池、甘酒の売店などもありました！

ほんの一部分を、クラピカ理論に倣って右回りでご紹介します。





「これはこれぞ梅！」な
← 『白加賀』



そして初めて見ました、
柳のような 『玉垣枝垂れ』



冬囲いや雪吊りも見られます。

一本の梅に2色一緒に咲いている
← 『思いのまま』

縁起がよさそうですね。

奥へ奥へと進んでいくと…



こちらは池上梅園の目玉で、かなり珍しい『^{ざろんばい}座論梅』

国内で4本しかないそうです🙄



一つの枝に対になって花が咲き、その姿が中国の賢人が座論を交わしている姿に似ている

(パンフレットより引用)



シフォンドレスのようなフワフワでかわいらしい

『^{こきょう にしき}故郷の錦』

暗めのピンク?赤?がかっこいい

『^{くろくも}黒雲』 →

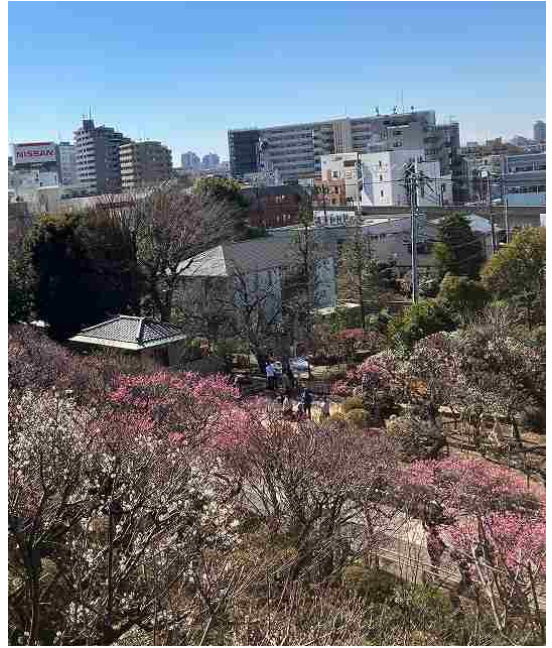


いったん入口まで戻ってきて、一番気になっていた見晴台へ！

なかなか急な階段でした🙄



紅白様々な梅と池上の家々が見渡せます。



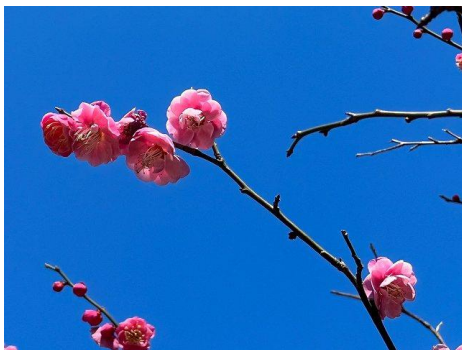
中ほどまで来ると、気になっていた

大輪八重咲き『^{やえあげは}八重揚羽』が！
しかし早かったようで
咲いていませんでした。
3月初旬に見られるそうです。

こちらは花餅のような八重咲きの
『^{かんごろも}寒衣』

慎重に階段を下りていくと…





えんおう
『鴛鴦』

名前カッコよすぎ！
枝ぶりも雷みたいでかっこいい！
おしどりとも読むそうです。

2月16日(金)～3月3日(日)までライトアップしています🌟

20:00まで(入場 19:30まで)開園しているので、お仕事終わりに夜の散歩はいかがですか？

ご覧いただきありがとうございます。

以上、葛西店 野村でした！

会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「心のゆとりと財布のゆとり」(2018年02月16日号より)

日本においてもこの5年間で大きな格差が生まれ、働く貧困層が急増しています。公開された上場企業上位300人の大株主の保有する株式時価総額は25兆円を越アベノミクス5年間で2.7倍に膨らんだと発表された。

東京都の調べでは住居を失い生活する人が4000人もいて、そのうち3000人が派遣社員や契約社員アルバイトなどの不安定就労者と見られています。

ユニクロの柳正社長は「将来は年収1億円か100万円に分かれ、中間層が減っていく」「仕事を通じて付加価値が付けられないと、低賃金で働く途上国の人にフラット化するので、年収100万円のほうになっていくのは仕方ない」と格差と低賃金を当然と言っています。

これらの格差の拡大が日本社会に様々な影響を与えています。

